

# 第12回全国和牛能力共進会に向けて ～和牛新時代 地域かがやく和牛力～

■農林水産振興課(内線253)

## 全国和牛能力共進会とは

5年に1度開催される全国規模の和牛(黒毛和種牛)の品評会で、別称「**和牛のオリンピック**」。牛の改良の成果を競う「種牛の部」と、牛肉の肉質を競う「肉牛の部」からなり、全国から約500頭の牛が集結します。

平成29年に宮城県で開催された第11回全国和牛能力共進会では、北嶋光昭氏が総合評価群(肉牛群)で特別賞を受賞しました。

## 第12回全国和牛能力共進会の概要

開催テーマ	「和牛新時代 地域かがやく和牛力」
主催	全国和牛登録協会
最終審査	令和4年10月6日(木)～10日(祝)(月)
会場	(肉牛の部) 鹿児島県南九州市知覧町

県内の肥育牛農家から15戸が選抜、そのうち本市からは、**北嶋畜産と井上義見氏が選抜され、出品を目指すことになりました。**

4月27日には、入札した出品候補牛(選抜された子牛)が4頭ずつ引き渡され、市内繁殖牛農家(中山氏)の子牛は、井上義見氏が導入しました。今後、出品技術指導班(全共事務局、全農、県改良センターなど)が農家を定期巡回し、出品対策委員会によって、最終的に令和4年8月に県代表(肉牛の部)の7頭が選ばれます。



▲出品候補牛入札の様子

ホール木村で応援しよう

和牛のオリンピックに向けて意気込みを聞きました!



きたじま みつあき  
北嶋畜産代表 **北嶋 光昭** 氏

まだまだスタートしたばかりで、プレッシャーは後から徐々に強く感じるだろう。長い戦いになるが、日頃の自分の技術の蓄積を出すだけ。まずは全国和牛能力共進会への出品を目指し、出品となれば当然「金メダル」を獲りたい。



いのうえ よしみ  
**井上 義見** 氏

サシ※はその牛が持って生まれたものなので、これから無事にすくすく育ってくれることを願うだけ。今後、数回に分けてふるいにかけてられるが、残っていききたい。そして鹿児島への切符を手に入れたい。  
※赤身肉の中に白い脂肪が網の目に入っている状態。

